

地盤工学研究室の長田知樹さんが 第 60 回地盤工学研究発表会で「優秀論文発表者賞」を受賞

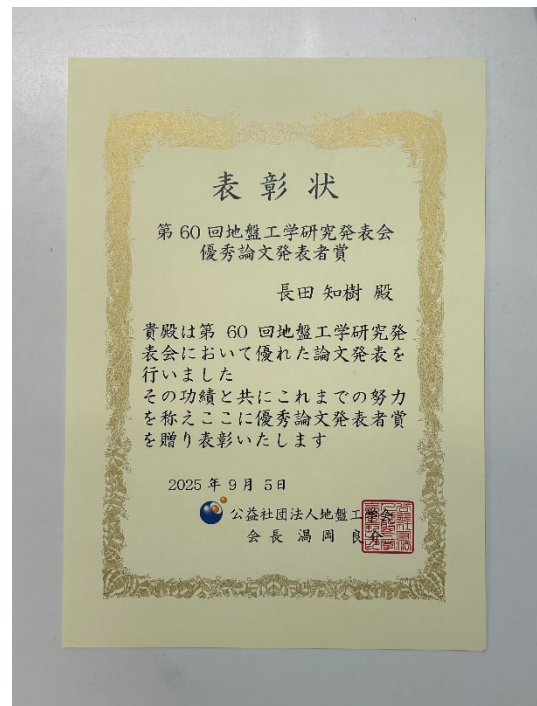
令和 7 年 7 月 22 日から 24 日に下関市で開催されました地盤工学会主催の「第 60 回地盤工学研究発表会」において、理工学研究科博士前期課程 2 年の長田知樹さんが「優秀論文発表者賞」を受賞しました。

本賞は、今後の地盤工学分野を担う若手技術者及び若手研究者の活性化，研究意欲の向上を目的として設立された賞であり，発表内容，発表技術，発表時間，質疑応答において優れた発表を行った 35 歳以下の技術者及び研究者に贈られます。

発表した論文題目は、「異なる排水条件下で繰返しせん断された砂の再圧密時体積ひずみ特性」です。この研究では，間隙水圧消散工法による液状化対策を施した際の地盤沈下量の評価手法の確立を目的として，繰返し三軸試験が実施されました。排水条件の違いによる体積ひずみ特性を明らかにした点が評価され，今回の受賞につながりました。



受賞した長田さん



賞状